

平成29年11月22日  
環 境 局

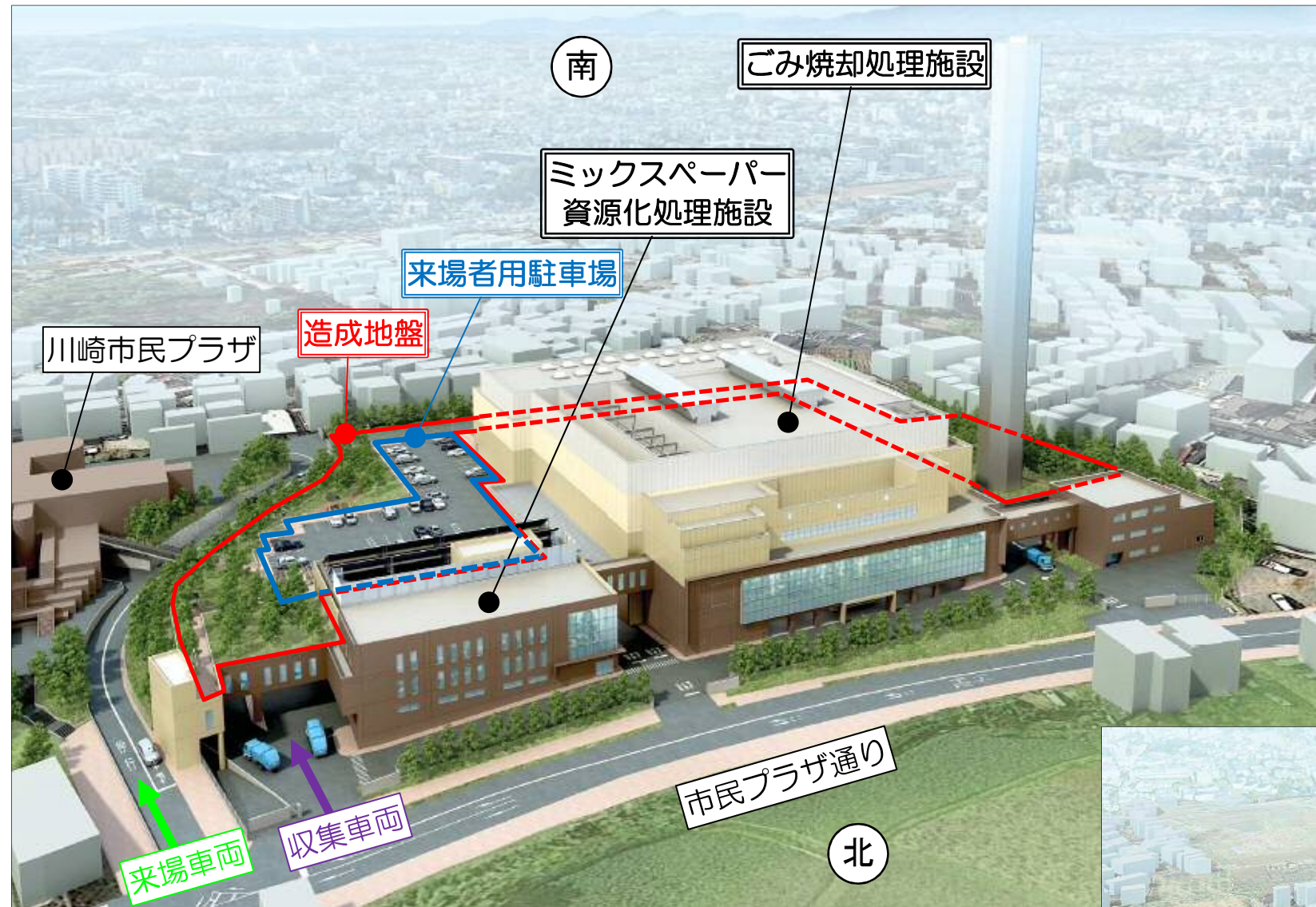
## 環境委員会参考資料

議案第139号

参考資料 橘処理センター建設工事 工事概要

# 橋処理センター建設工事 工事概要

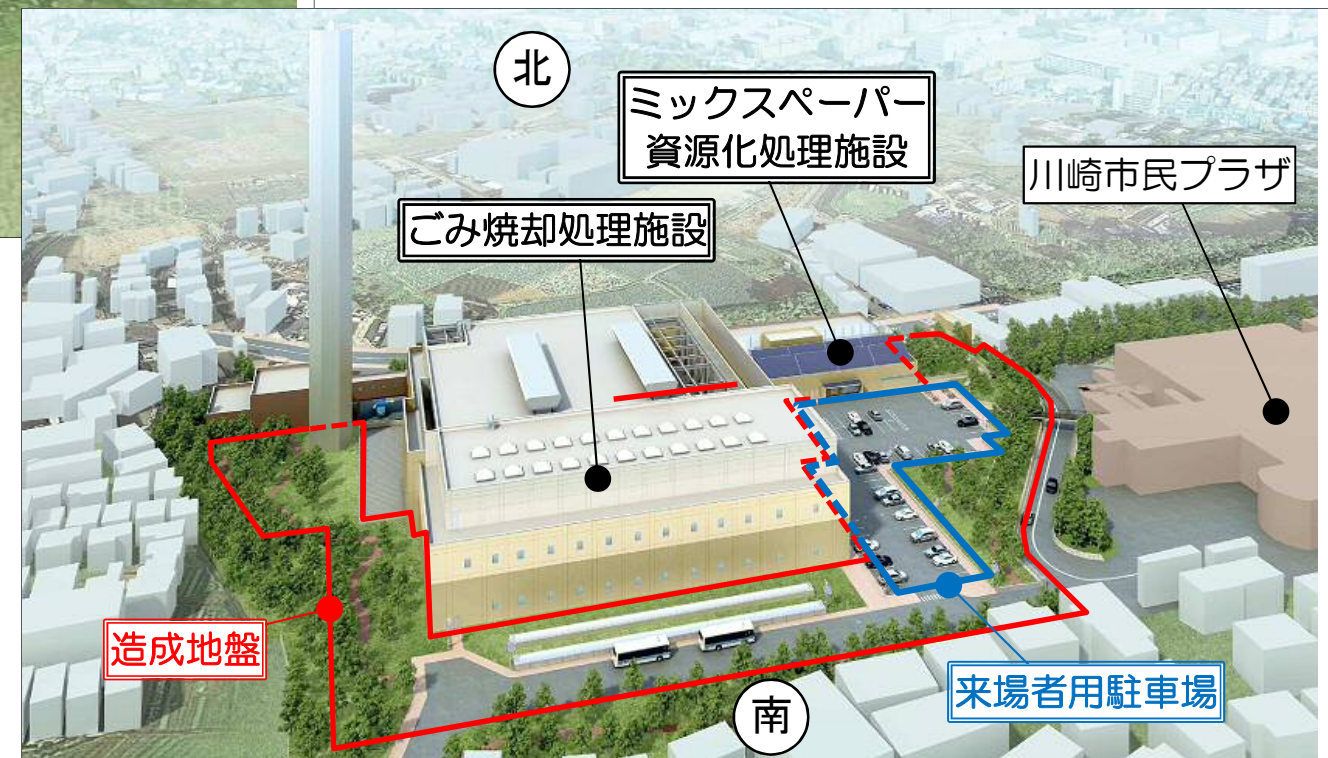
## 1 橋処理センター完成予想図



施設北側完成予想図



周辺図



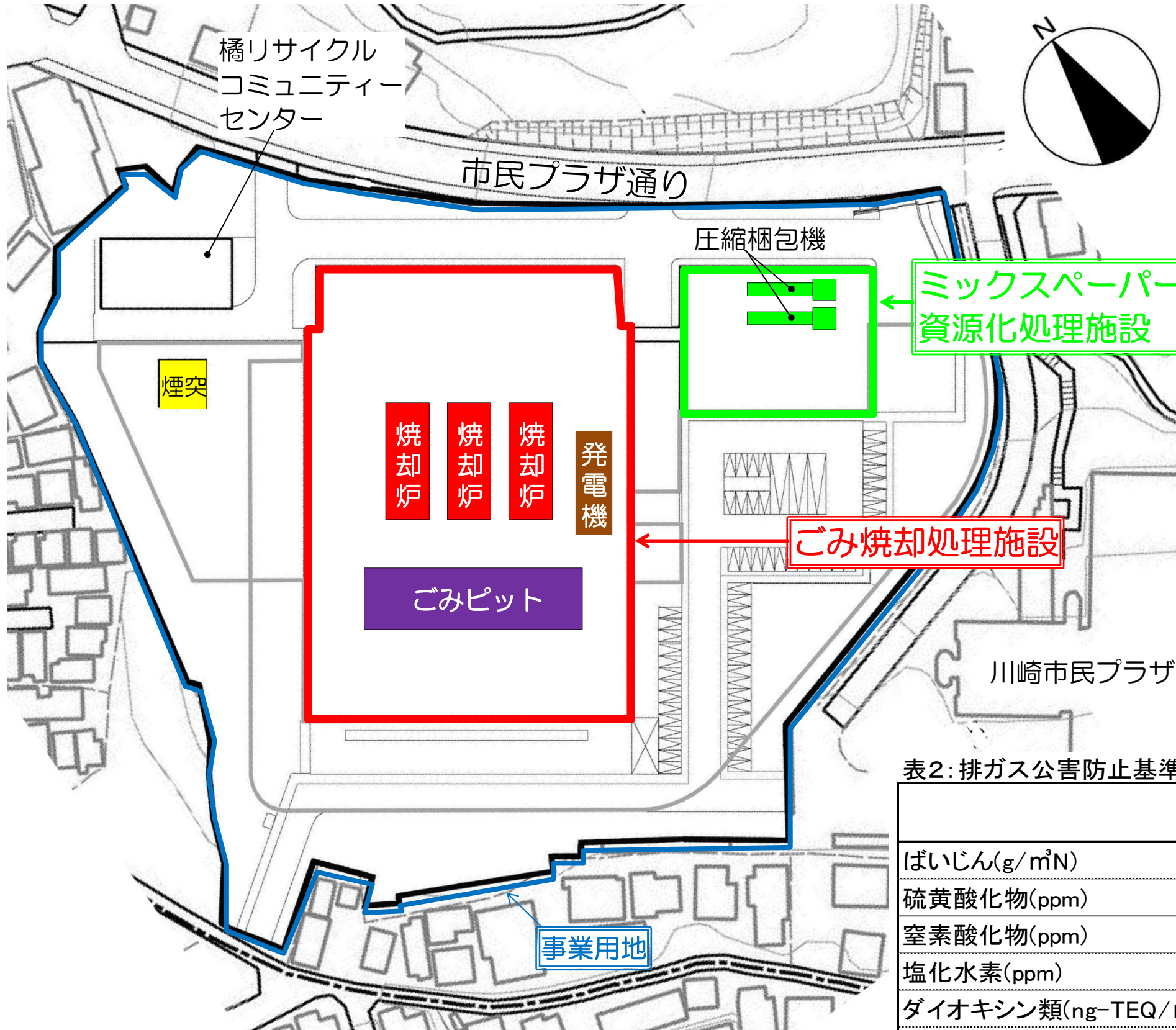
施設南側完成予想図

### 施設の特徴

- ・川崎市民プラザと連続した一体的な広域空間を確保する計画
- ・災害発生時には来場者用駐車場を広域避難場所として活用する計画
- ・収集車両と来場車両の動線を分割した安全性に配慮した計画



## 2 施設概要



施設配置計画図

表1:ごみ焼却処理施設主要項目

ごみピット	容量:約12,000m <sup>3</sup> (約3,600t)
発電機	発電量:14,000kWh以上 発電効率:21.5%以上
煙突	高さ:約100m (既存と同じ)

表2:排ガス公害防止基準値

	法令等の基準値	自主基準値 (性能保証値)
ばいじん(g/m <sup>3</sup> N)	0.04以下	0.008以下
硫黄酸化物(ppm)	400以下	8以下
窒素酸化物(ppm)	250以下	24以下
塩化水素(ppm)	430以下	8以下
ダイオキシン類(ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	0.1以下	0.008以下
水銀(mg/m <sup>3</sup> N)	0.05以下	0.03以下

### 3 土壤汚染対策 及び 地下構造物解体撤去

#### (1) 経過について

平成27年3月

ごみ焼却処理施設稼働停止

平成27年5月～平成28年2月

土壤調査実施:「川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例」に基づき調査を実施し、土壤汚染を確認

平成28年2月

議会報告及び報道発表:土壤調査結果についての公表

平成28年5月

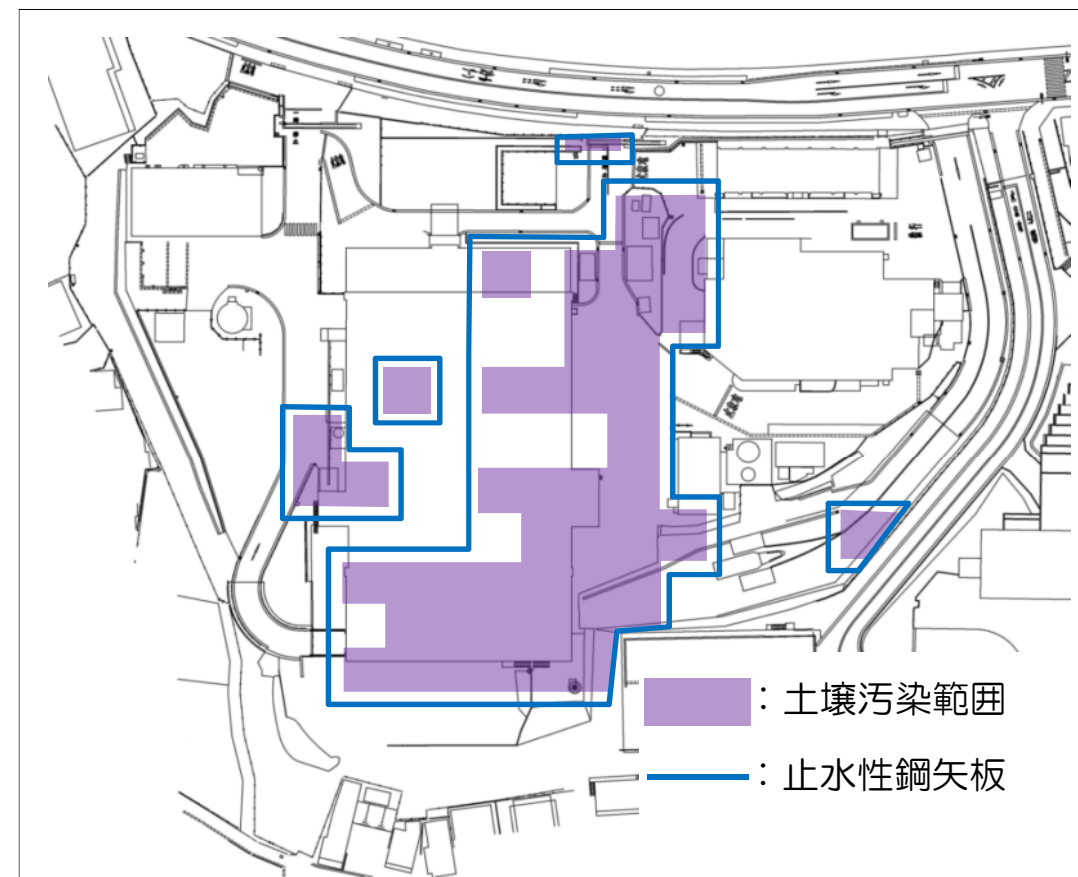
土壤汚染対策法に基づく「形質変更時要届出区域」として届出

平成28年8月～

地下水モニタリング:地下水による有害物質の敷地外への流出がないことを継続確認

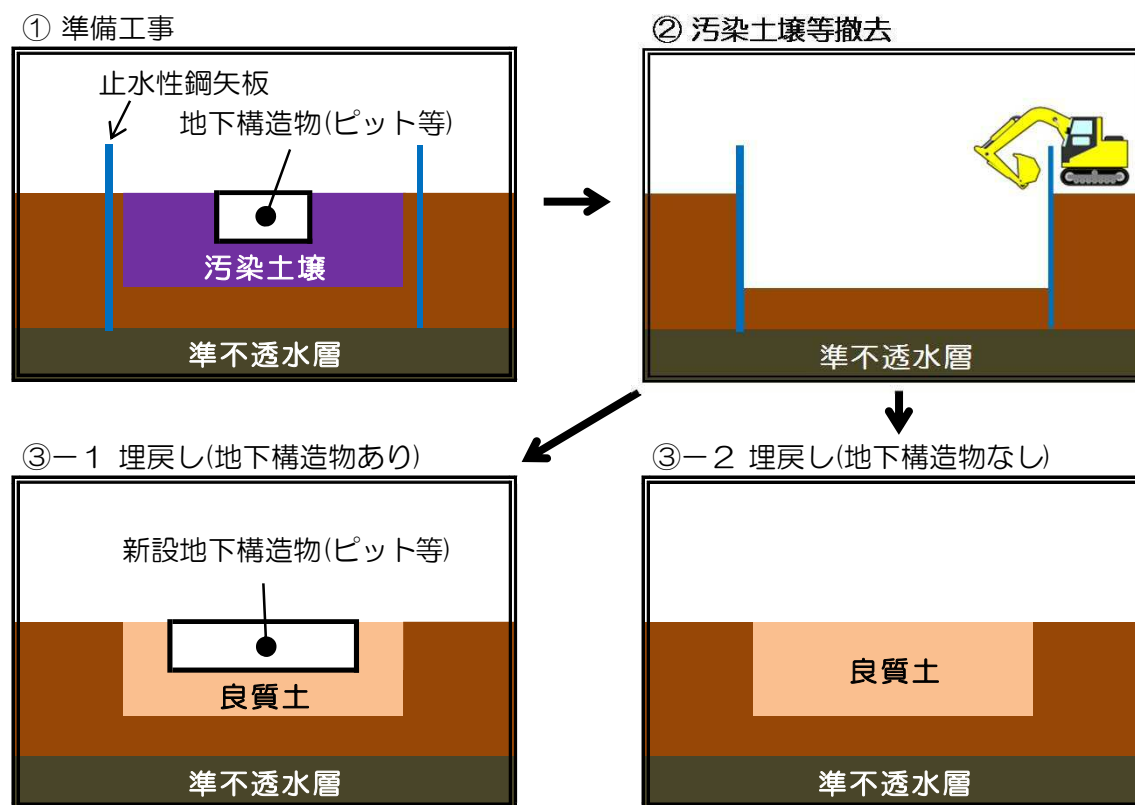
#### (2) 検出された物質について

物質名		測定値(最大)	環境基準値
ふっ素及びその化合物	溶出(mg/L)	4.1	0.8
	地下水(mg/L)	2	0.8
ひ素及びその化合物	溶出(mg/L)	0.052	0.01
鉛及びその化合物	溶出(mg/L)	0.35	0.04
	含有(mg/kg)	8400	150



土壤汚染範囲図

#### (3) 土壤汚染対策及び地下構造物解体撤去の流れ



参考写真1:止水性鋼矢板(例)



## 4 工事に伴う周辺環境に対する配慮

### (1) 周辺道路への泥等の飛散防止対策

- ア 車両退出時の洗浄実施  
敷地外に退出する際は、高圧洗浄機を用いてタイヤに付着した泥等を落とすことで、周辺道路への汚れを防止
- イ 汚染土壌運搬時の飛散防止  
搬出する汚染土壌は、飛散防止のためにシート掛けを行い、ダンプトラックで搬出

参考写真2: 高圧洗浄機による洗浄(例)



参考写真3: 汚染土壌運搬時の飛散防止(例)



### (2) 騒音・振動等への対策

- ア 低騒音型、低振動型建設機械の使用
- イ 騒音、振動、粉じんの連続測定  
敷地境界4地点における騒音、振動、粉じんを連続測定し、現場表示器及びホームページで公開

参考写真4: 騒音等測定値現場表示器(例)



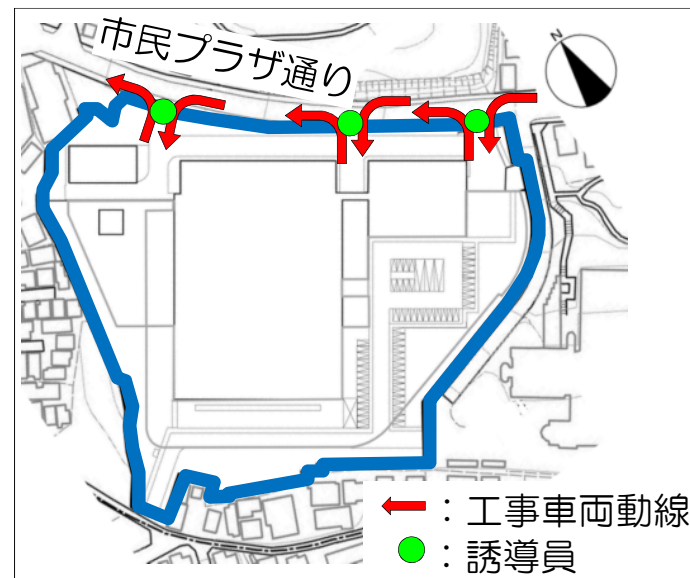
参考写真5: 騒音等測定値公開ホームページ(例)



### (3) 安全対策等

- ア 工事車両の左折入場、左折退場の遵守
- イ 工事現場の出入口には、誘導員を配置する
- ウ 工事車両を集中させない搬出入計画
- エ 工事車両の周辺路上待機の禁止

工事車両動線及び誘導員配置計画図



参考写真6: 現況写真

